

Cinem@rt

# 韓国アニメセレクション

한국 애니메이션 셀렉션

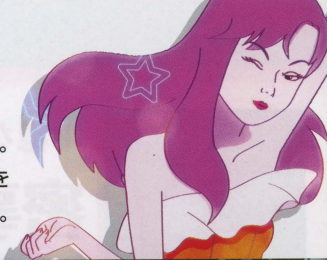
垣間見る！  
秀作たちの魅力

2023.1.27 Fri - 2.9 Thu

シネマート新宿 / シネマート心斎橋

Text 田中恵美 [ライター・編集者]

1990年前後のアジア美術ブームをきっかけに、韓国の現代美術や民衆美術を通じた交流活動に携わる。特に「花開くコリア・アニメーション+アジア(花コリ)」運営委員として、日韓アニメーション界の交流をサポート。韓国関連の執筆・編集では、ドラマなどのほか美術・デザイン、野球、ジャズなど専らニッチ担当(笑)。



## 新着作品ラインナップ

いつでも どこでも

# おうちで Cinem@rt



fire TVstick、Andoroid TV、Chromecast 対応

ここでしか見られない独占配信作品多数!



2023年1月27日(金)~2月9日(木)  
シネマート新宿・シネマート心斎橋で開催!

地下鉄新宿三丁目駅B2出口より徒歩1分  
シネマート新宿  
03 (5369) 2831

心斎橋・アメリカ村ビッグステップ4F  
シネマート心斎橋  
06 (6282) 0815

当日料金：一般・大学生 1,500円 / シニア(60歳以上) 1,200円 / 障がい者 1,000円

※各種サービスデー、TCG会員割引、ヘア50割引、伊勢丹アイカード割引の適用はございません。

リピーター割引：1,200円

※2回目以降から「韓国アニメセレクション」半券提示で左記料金でご入場できます。ご購入の際に必ず半券をご提示ください。オンラインチケット予約サービスをご利用の際にも、ご入場の際に必ずご提示をお願いいたします。



# 韓国映画アカデミー(KAFA)の 歴代長編作品から選りすぐりをお届け



欲望が支配する“異世界”に飛び込んだ  
少女たちが見たものは……

## ホテル・ローズ 欲望の館

**Story** 少女たちから熱烈な人気を集める最高のアイドルスター、ローズ。誰もがそのスタイルをまね、彼女が宣伝するアクセサリや化粧品を欲しがった。中でも女子高生のハンナは、身につけるアイテムだけでなく、美しい容姿までローズとそっくりで、友人たちから一目置かれる存在だ。ある日彼女は、歓楽街の外れにひっそりと建つ「ホテル・ローズ」を訪ねる。夏休みの間に金持ちの得意客たちのコネを得て、ローズと同じくスターになろうともくろんでいた。一方、病気の妹の治療費を稼ぐため、メイドとしてホテルにやってきた内気な少女ミナ。彼女もまたローズに憧れており、ハンナと打ち解けていく。だが「ローズ」の通り名でホテルNo.1の座を得たハンナに、ミナは羨望と劣等感の入り混じった、複雑な思いを抱き始めていた。

監督:ヨウ・ウナ 2018年/77分/韓国/原題:장미여관/サスペンススリラー/PG12

おうちで Cinem@rt  
12月23日(金)  
独占配信スタート



### Checkpoint

怪しいホテルで暮らすことになった二人の少女の葛藤と、彼女たちを支配する底なしの欲望を描く、スリラー・サスペンス作品。韓国映画アカデミー(KAFA)の長編課程(2017年)アニメーションコースの修了作品として制作された。物語の舞台は、つるばりに覆われた古いホテル。そこでは女主人が財産家の顧客たちに女性をあてがい、蓄財に励んでいる。部屋の窓からは繁華街のまぶしいネオンが見渡せるが、街とつながる道は、一本のトンネルだけだ。アニメーション研究家のナ・ホウォンは、そのトンネルを小説「不思議の国のアリス」で現実と異世界をつなげている「ウサギ穴」のようだと評した。二人の少女は、満たされぬ乾きを少しでも潤すため、周囲から注目を浴びるため、または現実から逃避するため、禁断のウサギ穴に飛び込んでいく。ちゅうちゅうなく物欲を表現し、全てを思いのままに操ろうとするハンナと、欲しい物を買うどころか、自我を持つことすら許されず生きてきたミナ。互いの夢見ていたものが、社会が作り上げた虚像に過ぎないと思知らされた瞬間、ホテルを激しい憎悪の炎が包み込む。ヨウナ監督は、少女が性犯罪の犠牲になった事件の報道番組と、その事件をめぐるネットでの激しい論争を目にしたことから、本作を構想したという。生々しい男女の交わりがアニメーションで描かれることに違和感を覚えるかも知れないが、ある意味では実写よりも感覚的、また象徴的に、画面からのメッセージを伝えられるのもまた、アニメーションが持つ魅力の一つと言えるだろう。



見習い幽霊とポンコツ青年が繰り広げる、  
超常現象ラブストーリー!

## アンニョン、僕のユーレイ様

**Story** ウブな大学生ジョンファンは片想いの同級生ウンジに近づくため、幽霊なんて信じていないのに、彼女が所属するオカルト研究サークルに入部。ところが、サークル合宿で不思議な酒を飲んだことから、思いがけず幽霊が見える体質になってしまった! 彼の前に現れた女幽霊ジンは、幽霊学校の劣等生。人間を驚かす霊能力を身につけて「スター幽霊」に昇格し、人間へと転生したいのだが、成績はいつもビリだ。彼女はウンジの気を引きたいジョンファンに、自分の霊力を貸す代わりに試験の手伝いをしてほしいと持ちかける。互いのもくろみは成功し、ウンジはジョンファンの霊感(実はジンの働き)に興味を示し、ジンの成績も急上昇。だが、幽霊学校の優等生ミミはジンの変化を疑い、二人の秘密を探り当ててしまう。

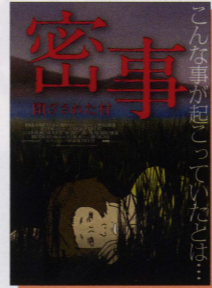
監督:チョン・ヨソク 2016年/84分/韓国/原題:술집술집/ラブコメディ/G

おうちで Cinem@rt  
12月23日(金)  
独占配信スタート



### Checkpoint

さえない青年と、半人前の女幽霊。人生(霊生?)失敗ばかりの二人が巻き起こす騒動を描く、ホラーなのに絶叫ゼロ&笑い100%の青春ラブコメ作品だ。ジョンファンとジンの最悪すぎる出会いに始まり、二人が取り組むばかりかほかほか涙ぐましい霊能力の猛特训、必死さゆえのけんかや仲直り、その行く手をばはむ危機まで、韓流ドラマの人気ジャンルであるファンタジー・ロマンスの手法を生かしながら、テンポよく物語が展開する。金縛り、憑依、コクリさんといった数々のオカルト都市伝説や、「テレビから出てくるあの霊」「マスクを付けたあの女性」などホラー・マニアにはおなじみの小ネタも、随所に散りばめられている。中でもユニークな要素は、ジンが学ぶ「幽霊学校」の設定だ。アイドル養成所さながらのスパルタ教育が行われ、霊能テクニックは試験で厳しく評価。クラスで1位を取らなければ、「スター幽霊」プロダクションとの契約も、人間への転生も叶わない。勉強そっちのけでサークル活動に明け暮れるジョンファンたちとは対照的な、人間界以上に激しい学歴競争が繰り広げられる。本作は、韓国映画アカデミー(KAFA)の長編課程(2015年)アニメーションコースの修了作品として、チョン・ヨソク監督により制作された。「ヒーローが登場しない、平凡な若者たちの日常を綴りたかった」と彼が話した通り、奇抜なシチュエーションを舞台にしながらも、若者たちがキャンパスライフで経験する泣き笑い、と、人間的(霊的?)な成長が等身大で描かれている。誰もが知らぬ間に、自分の学生時代を重ねながら見てしまうはずだ。



平穏な農村のコミュニティに隠された、救済なき原罪

## 密事 閉ざされた村

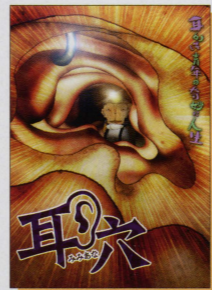
**Story** 父親の還暦祝いに参加するため、ソウルから故郷の村に帰ってきた女性イネ。父親を慕って多くの村人が集まっているその宴席に、衝撃的な知らせが飛び込んできた。村で暮らす知的障がい者のウンシルが、一人で女の子を出産した後、手当てされないまま死んでいったのだ。地元警察は慌てたように事件を処理するが、ウンシルと小学校の同級生だったイネはその経緯に疑問を感じ、自ら子どもを預かって、ウンシルを暴行した人間を突き止めようとする。だが同じく同級生だったソミンとジョンはイネに冷たい視線を向け、子どもを施設に託すよう忠告する。村人たちはもともと子どもを忌み嫌い、ついに誘拐して殺そうとする者まで現れた。ウンシルとその子には、一体どんな秘密が隠されていたのか……。

監督:キム・ソナ、パク・セヒ 2011年/71分/韓国/原題:은실이/ミステリードラマ/PG12

おうちで Cinem@rt  
12月23日(金)  
独占配信スタート

### Checkpoint

「みんなが気持ちよく暮らせる社会」は、社会が目指すべき目標の一つだ。人々は自分が属する家庭、学校、職場などそれぞれの場所で、できるだけ気持ちよく/ストレスなく暮らしたい。だがその「気持ちよさ」が、場面に倒れ持ち込む厄介者=「ノイズ」を排除することで、維持されているのだとしたら……。本作の軸をなす要素は、「障がい者への性暴力」という絶対に許してはならない犯罪だ。だが物語の底から湧き上がるのは、「ノイズ」を排除したい誘惑、自らが「ノイズ」なることへの危機感、そしてギリギリの均衡で保たれた「気持ちよさ」が壊れることへの、切実なまでの恐怖だ。冬を迎えた農村の風景は、類型的な田園のイメージとはほど遠い。村人たちの日々のいらだちが立ち込めたように暗く味気なく、外部からの無邪気な接近を拒み続ける。本作は、韓国映画アカデミー(KAFA)の長編課程(2011年)アニメーションコースの修了作品として制作され、キム・ソナとパク・セヒが共同で監督を務めた。ともに女性である二人は、あえて被害当事者のウンシルではなくイネからの視点から事件を描くことを決め、「もし自分が彼女の立場にあったら、どう感じ、どう動くのか?」と自らに厳しい省察を課しながら、シナリオを練り上げたという。そんな二人の努力は、村の真実を一度ずつむいて解き明かすような、綿密なストーリーとして結実した。自らの中にある罪を暴いたその手は、事件の「傍観者」であった観客の心の表皮へと、知らぬ間に手を伸ばしているだろう。



「あなたのお耳に失礼します」・小・さ・な耳かき職人の数奇な人生

**Story** 大人気のテレビ裁判番組「生きるか死ぬか」。被告の無罪/死刑を一般投票で決めるスリリングな構成で、視聴者を熱狂させている。今回の容疑者は、謎の精神錯乱事件の原因を作ったという、1匹のクモだった。その数ヶ月前。生き別れた最愛の姉を探しながら、ベットのクモだけが友達のみじめな生活を送る青年チェブルチャルは、耳かきサービス会社で働き始めた。顧客ともろくに話せない内気な彼は、社長から激励として「体力のつく葉」を飲ませてもらう。だがそれは、人体を耳の穴よりも小さくしてしまう特別な葉だった。ブルチャルが「直接耳の中に入って行く耳かき」顧客から好評で、彼の存在も大衆から注目を集めるように。忙しく働き続けるうち、彼は耳の穴の一番奥から、人の心の深層がのぞけることに気がつくが……。

監督:クァク・インギン、キム・イルヒョン、リュウ・ジナ、イ・ウンミ、イ・ハヨソ 2009年/85分/韓国/原題:귀를찰이야리/ダークファンタジー/G

おうちで Cinem@rt  
12月23日(金)  
独占配信スタート

### Checkpoint

「かいてもかいても、何かもの足りない耳掃除のあの感覚。もし人が耳の穴の中に入って、隅々まで完璧に掃除してくれたら、どんなに気持ちいいだろう」と、誰でも一度くらい考えたことがあるのでは?そんな“人類共通の夢”を映像化するのに、アニメーションはもってこいのメディアだ。本作は、韓国映画アカデミー(KAFA)の長編課程(2008年)アニメーションコースの修了作品として、学生5名による共同監督方式で制作された、ダークファンタジー作品だ。原作は、人気シンガー・ソングライター・イ・ジョウが著した短編集「指紋ハンター」に取られた同名の小説。わずか数ページのショート・ショートから、主人公たちが暮らす都市の世界観を5人が自由に膨らませて、ジャンルでブラックな、それでいて妙にクセになる、魅力的な映像作品を作り上げた。家族の愛に飢え、職場でもさげすまれ、自己肯定感など持てるわけもなく、「自分の不始末(韓国語で言う「チェブルチャル」)です」と、わけもなく他人に謝ってばかりの主人公ブルチャル。そんな“小さき者”が文字通り小さくなってしまい、しかし皮肉にもそのおかげで、やっと社会に居場所を見つけることができた。物語のクライマックスで、彼は長い間ため込んできた感情をついに爆発させる。だがその反乱さえも、あまりに小さすぎて一瞬で人々の記憶から消え去ってしまう。本作の公開から約15年経った現在、世界はより過酷に、人々の視線はいっそう過激に、無数の“小さき者”たちを追い詰めているのではないだろうか。



内気な少年と家族が織りなす、懐かしい“あの日”の物語

## ジンジンとアキタ

**Story** 1983年夏。韓国南部の小さな港町に、ちょっと内気な小学生ジェオンが暮らしていた。彼の家族は、両親と姉と妹、それに父親がかわいがっている2匹の犬、珍島犬の「ジンジン」と秋田犬の「アキタ」。魚市場で働く父は、毎日酔っ払って帰宅してはジェオンたちをしかり飛ばし、母親ともしょっちゅう衝突している。家族を困らせて犬たちだけに愛情を注ぐ父親の姿に、寂しい気持ちを募らせていくジェオン。ある日ついにその不満が爆発し、ジェオンはジンジンの鎖を外して、家から追い出してしまふ。ところが、放たれたジンジンは興奮して子どもたちを追いかけ回り、なぜかそこにアキタも加わって、町中が大騒ぎに。だが警察に犬目玉を食らった父親は、思いもよらぬ行動に出る。ジェオンはその真意を測りかねるが……。

監督:チョン・ヨソク 2016年/67分/韓国/原題:우리집 멍멍이 친구야/ドラマ/G

おうちで Cinem@rt  
12月23日(金)  
独占配信スタート

### Checkpoint

韓国映画アカデミー(KAFA)が開催した2017年度長編デビュープログラムの選定作品として、制作・公開された本作。監督を務めたチョン・ヨソクは、90年代に民間のワークショップでアニメーションを学び、大学卒業後に来日してアニメスタジオ勤務を経験したのち、帰国してKAFAの正規課程に入学した異色の経歴の持ち主だ。日本のアニメーションの中でも、優しく穏やかな雰囲気のある作品に憧れていたという監督は、同様の作風を得意とするスタジオで「ちびまる子ちゃん」や「こにちはアン」などの制作に携わりながら、研鑽を積んできた。20年近い努力を経てついに長編制作の機会を得た監督は、誰もが経験する少年時代の心の機微を、作品のテーマに選んだ。ジェオンはわんぱくで元気いっぱい、という典型的な少年主人公ではない。口数は少なく、うれしい時も悲しい時も、一人でとっと感情をかみしめている。一方、彼の周りの大人たちは、どなり合いつかみ合いながら、素直に思いをぶつけ合い、それでも最後は互いを理解し合う。そんな人々の不器用な生き方を観察しながら、ジェオンは父親の本当の気持ちを知り、少しずつ大人に近づいていく。プロ野球リーグが始まった時の高揚感や、今では姿を消した犬食文化、小学校からの徹底した反共教育\*など、時代の光と影も、物語の随所に散りばめられている。舞台となった統営の港、釜山の古書店街などリアルに再現された当時の風景や、古いカラー映像を思わせる印象的な色彩も、見る者をそれぞれの“あの時”へととざうだろう。

(※北朝鮮をはじめとした、当時の共産主義勢力への敵対意識をすくすくするための教育。1987年の民主化宣言発表後には廃止された)